

# 令和7年第1回西海市議会定例会

## 市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
3月3日 (月)	1	1	荒 木 吉 登 議員	2
	2	2	瀧 瀬 栄 子 議員	3
	3	3	渡 辺 督 郎 議員	5
	4	4	打 田 清 議員	7
3月4日 (火)	5	1	小 嶋 俊 樹 議員	9
	6	2	平 井 満 洋 議員	10
	7	3	戸 浦 善 彦 議員	11

西 海 市 議 会

## 1. 荒木 吉登 議員

### 質問事項 1

#### カーボンニュートラル政策について

#### 質問の要旨

市長は在任期間中、7つの政策の柱を推進すると共に様々な政策課題の解決に取り組み、その中でも特に「脱炭素社会に向かうまち西海市」を最初の柱として掲げている。西海市総合計画では、2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル政策」を強力に推進するとしている。具体的な施策として、公用車の電気自動車導入、庁舎でのCO<sub>2</sub>フリー電力の使用、ゼロカーボンデイの開催などを行っている。また、これらの取組について広報誌などで情報発信も行っている。しかし、市民の反応を見ると、カーボンニュートラル政策の認知度及び理解度の高まりは十分ではないように感じられる。そこで、以下の点について伺う。

- (1) 市長は、カーボンニュートラル政策について、市民の認知度及び理解度をより高めるために、次はどのような展開を考えているのか伺う。
- (2) カーボンニュートラル施策を進めていくことによって、市民生活がどのように変化していくことを期待しているのか。また、そのことによって市民はどのような恩恵を受けるのか伺う。

### 質問事項 2

#### 県に対する要望活動の在り方について

#### 質問の要旨

本市には、県が管理する港湾及び道路が点在しており、ところによっては、船舶が長期間放置された港湾や大木化した木々に覆われた道路などが見られる。このような状況は、景観が損なわれるだけでなく、通行の支障や安全面でも問題を引き起こす危険性がある。本市では、これらの問題に対して、県への要望活動を重ね、問題解決に努めているが、現状の対応では解決に時間がかかっている。市民の安全を最優先に考えるならば、早急に問題解決が図られるべきであり、これまでとは異なったアプローチで県に対する要望活動をすべきと思うが、市長の考えを伺う。

## **2. 洲瀬 栄子 議員**

### **質問事項 1**

#### **学校給食の無償化について**

##### **質問の要旨**

令和6年第2回定例市議会において、学校給食の無償化について、「全児童・生徒を対象とした場合に必要な予算は約8,500万円」と示されたが、同時期の全児童・生徒を対象とした場合に必要な予算額から、既に無償化されている第3子以降の分と就学援助の認定により学校給食費相当額の給付を受けている児童・生徒の分を除いた場合に必要となる予算額を伺う。

また、安心して子育てができる環境の確保及び保護者の負担軽減の観点から、全国一律の学校給食無償化を国に要望をすると同時に、既に学校給食費を無償化した自治体との地域差解消のため、本市独自で無償化の対象を全児童・生徒に広げる考えはないのか伺う。

### **質問事項 2**

#### **空き家・空き地の適正管理について**

##### **質問の要旨**

近年、空き家や空き地が適正に管理されていないことにより、建物の一部が敷地外に崩れ落ちたり、生い茂った草木が隣地にはみ出したりするなど、周辺住民の生活環境を害する問題が増えている。本市の空家等対策の推進に関する条例では、居住その他の使用がなされていない建築物又はこれに附属する工作物及びその敷地については、適正な管理及び活用に関する意識の啓発のほか、市長が認める場合は、当該危険を回避するために必要と認める最低限度の応急措置をとることができるとしているが、空き地の対応については対象としていない。

宇都宮市の「宇都宮市空き家等適正管理及び有効活用に関する条例」では、適正に管理されていない空き家だけでなく空き地についても周辺住民へ迷惑や危険を及ぼしていると市が認めた場合は、所有者に対して指導や改善命令を行うとしている。本市においても同様に適正な管理がされていない空き家だけでなく空き地についても対応できる取組を行う考えはないのか伺う。

### 質問事項 3

#### 訪問介護事業者への支援について

##### 質問の要旨

東京商工リサーチによると、令和6年における介護事業者の倒産と休廃業の合計は、過去最多を更新する784件に達し、令和5年の632件から152件増加している。特に訪問介護においては、倒産と休廃業の合計は529件で、前年の令和5年から102件増え、訪問介護事業者の苦境が浮き彫りとなっている。

これは、令和6年4月の訪問介護の基本報酬引き下げや人手不足が大きく影響していると思慮される。

本市においても、市内にある3事業者の状況を十分に把握し、経営環境の先行きが見通せない状態で介護事業からの撤退に追い込まれることのないよう、早期の支援が必要と考える。そこで、新潟県村上市が報酬引き下げによる減収分を令和6年4月の改定時にさかのぼって独自に補助することを決めたように、本市でも同様の対策を講じる考えはないか伺う。

### 質問事項 4

#### 公営住宅の日常点検について

##### 質問の要旨

本市の公営住宅等長寿命化計画に、予防保全の観点から定期的な点検等を行うことが、公営住宅等の長寿命化を図るうえで重要であるとして、点検の実施方針に、年に一度程度の日常点検をするものとし、平成28年8月に国土交通省住宅局住宅総合整備課から示された「公営住宅等日常点検マニュアル」に則り実施することを基本とするとの記載がある。

そこで、本市における公営住宅等の日常点検の実施状況について伺う。

### 質問事項 5

#### 指定管理者制度の運用について

##### 質問の要旨

本市の公共施設において、指定管理者の健全な経営と適切な運営管理や業務の履行を確保するにあたり、令和5年及び6年に引き上げられた長崎県の最低賃金時間額や昨今の物価高騰の状況に見合う指定管理料の見直しが必要であると考えます。

令和5年第4回定例市議会において、「本市においては令和4年10月19日付けで、物価高騰に伴う債務負担行為設定分の指定管理事業予算の増額についてとして、

財務課長から庁内に通知を发出しているが、現時点で物価高騰に係る指定管理料の増額要求はなく、補正予算として対応は行っていない。現在の指定管理に係る各協定書を確認したところ物価変動のリスクについて明記のないものが65件ある。これまでも総務省通知に則って対応していることから、相談があった場合は協議に応じる」とのことであった。

その後、指定管理者から物価変動にかかる費用等の負担について相談があったのか、また、相談があった場合、指定管理者との間で別途協議を行い、取扱いを決定し、契約変更の実施等の適切な対策を取られたのか伺う。

## 質問事項6

### 港湾の改修・自然災害防止対策について

#### 質問の要旨

令和6年度西海市一般会計予算において、港湾等改修事業の県営地元負担金が計上されている。その中で、県単独事業として進められている瀬戸港焼島地区の係留堤と、瀬戸港馬込地区の港湾自然災害防止事業における開口部対策の進捗状況について伺う。

## 3. 渡辺 督郎 議員

### 質問事項1

#### 立地適正化計画の策定について

#### 質問の要旨

令和7年1月24日付日本経済新聞に、政府は商業施設や住宅を市街地に集約するコンパクトシティづくりを促すため、年間およそ1兆3,000億円を計上している社会資本整備総合交付金について、令和7年度から、立地適正化計画が策定された自治体や、策定に向けた取組がある自治体のみ重点配分の対象にする旨の記事が掲載された。この計画では、都市計画区域の中でも特に居住を誘導して人口密度を一定以上に維持する居住誘導区域と都市機能の誘導を図る都市機能誘導区域を設定するとともに、その誘導のために講ずべき施策等を定めることとしている。

人口が減少し、広域に集落が点在している本市において、中心市街地を形成し、持続可能な都市構造への転換を目指すことは大きな課題である。そこで、これらの課題の解決と有利な財源を確保するため立地適正化計画の策定に取組む考えはないか伺う。

## 質問事項 2

### 景観計画の策定について

#### 質問の要旨

令和4年第2回定例市議会的一般質問において、同僚議員が景観行政団体への移行及び景観計画の策定について質問をしたところ、「現段階では県の景観計画で特に支障がないことから、景観行政団体への移行には時期を見計らって進める」、「景観計画の策定には、現地調査や地元との協議が重要となるため、専従職員の配置が必要となり、3年から5年程度の期間を要する」旨の答弁があった。

その後、国土交通省が公表した令和6年3月31日時点の景観法の施行状況を見ると、長崎県内では16市町が景観行政団体に移行しており、そのうち15市町が景観計画を策定している。

さらに、長崎県景観計画では、景観行政団体に移行していない市町の区域について、景観阻害要因の増加が懸念されており、移行を促進しつつ、移行までの間予防的に最低限の規制・誘導を行うことが示されている。そこで、本市における農山漁村等の優れた観光資源の保全・活用による観光地の魅力向上を図るため、景観行政団体への移行及び景観計画の策定について、改めて伺う。

## 質問事項 3

### デジタル地域通貨の導入について

#### 質問の要旨

南島原市は、令和3年2月から、市内の事業所でのみ利用できるデジタル地域通貨「MINAコイン」を導入している。利用者はアプリを導入したスマートフォンにMINAコインをチャージすることで、買い物等に利用することができる。また、チャージ額に対して付与される1%分のポイントも支払いに利用できることから現金よりもお得である。また、MINAコインやポイントは市内だけで使えることから、市内の加盟店は消費機会の増加が期待できる。そして、資金が市内を循環することで地域経済の活性化につながっている。令和6年12月3日付日本経済新聞によると、南島原市内の食料品店や小売店を中心に約400店舗で使用でき、約3万8,000人の人口に対して、MINAコインアプリのダウンロード数が3万件を超えるなど普及が進んでおり、市の担当者の話では、加盟店の数や使えるサービスを増やすことで使い勝手が向上しているとのことであった。

このような状況を鑑みると、本市においてもデジタル地域通貨の導入を検討する価値があると思うが、市長の見解を伺う。

#### 質問事項 4

##### 窓口DXについて

##### 質問の要旨

デジタル庁は、自治体窓口DX「書かない、待たない、回らない、ワンストップ窓口」を実現することで、地方自治体窓口の「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」の実現を目指している。本市は、国が示す、地方自治体が取組むべき事項として示された6つの重点取組事項を推進するため、令和6年5月に西海市DX推進計画を改訂し、自治体フロントヤード改革の推進として、書かない窓口の実現に向けて、窓口DXに取り組んでいると思うが現在の取組状況について伺う。

#### 質問事項 5

##### 松林の松くい虫防除について

##### 質問の要旨

毎年、雪浦地区の松林では、松林の松くい虫防除対策として薬剤散布や樹幹注入による防除を実施しているが、依然として松枯れが発生しており、根本的な解決には至っていない。このような状況を受け、造園業の専門家に雪浦地区の松林の状況を見てもらったところ、当該松林の土壌環境は健全ではなく、土中の水も停滞しており、松枯れは不健康な土中環境がもたらした事象の1つであると指摘を受けた。同氏は、薬剤散布が土壌環境の悪化を招き、水の汚染にもつながると指摘し、松林の改善には薬剤散布を中止し、土中環境を改善することが必要であり、地域住民が一体となって松林の環境再生に取り組むことが重要であると提案された。

実際に同様の実証実験が行われた新潟市の海岸保安林では、薬剤散布に頼らず、松林の土中環境改善を行った3年間、そのエリアだけ松枯れが確認されなかったという実績がある。そこで、雪浦地区の松林においても、同様の実証試験を行う考えはないか伺う。

#### 4. 打田 清 議員

##### 質問事項 1

##### 西海ふるさと便事業について

##### 質問の要旨

広報さいかい2月号に、西海ふるさと便事業を令和7年2月28日発送分を期限として休止するお知らせが掲載された。当事業は、新型コロナウイルス感染拡大による経済対策の一つとして、令和2年度から開始されたもので、コロナ禍で外出制

限等により人流、物流もストップした当時、市産品の売上げも落ち込みが激しかった状況下において、多くの市民に利用され、生産者の売上げについて一定の下支えがあったと考える。一方で、本市産品の質の高さや美味しさなどを市外に広くPRすることができ、販路拡大やふるさと納税の促進にも寄与してきた重要な事業であったと認識している。当該事業の再開について強く望むところであるが、再開に向けた検討状況を伺う。

## 質問事項 2

### 本市所有の太陽光発電設備及びEV用急速充電器について

#### 質問の要旨

令和6年第4回定例市議会における一般質問において、本庁舎や各施設に設置している太陽光発電設備について尋ねたところ、「本市が太陽光発電設備を設置した施設は、指定管理施設を含み13箇所あるが、そのうち8箇所は故障により稼働を停止している状況であり、順次修繕を行っている」とのことであった。また、市が直接管理している太陽光発電設備については、「専門業者による電気設備保守点検業務委託の点検対象としており、施設の所管課が定期点検の結果報告を受けて、異常の有無について確認を行う」との答弁であった。

そこで市長に次の事を伺う。

- (1) 現在故障して稼働していない設備はどこか、また、今後の改修計画について伺う。
- (2) 各施設の専門業者による点検の頻度について伺う。
- (3) 専門業者による点検報告を受けて異常があった際には、どのように対応するのか具体的に伺う。
- (4) 本庁舎及び西海総合支所駐車場に設置されているEV用急速充電器の利用状況について伺う。

## 質問事項 3

### 西海救急クリニック開院について

#### 質問の要旨

令和7年2月3日に開院した西海救急クリニックについて、直前の2月1日に行われた完成内覧会には多くの市民が集まり、関心の高さを大いに感じた。また、診療科目に救急科の他にもリハビリテーション科があり、当クリニックでも施術が受けられると喜ぶ方もいた。悲願であった24時間365日対応の救急医療機関が開院

したことは多くの市民の安心に寄与するものと期待するところである。そこで、市長に次の事を伺う。

- (1) 市長念願の救急クリニックが開院したが、西海救急クリニックにどのような期待をするのか伺う。
- (2) 地域の医療提供施設の連携は、医療を受けた者が転院する際など、適切な環境の下で療養を継続されるために重要なことと考える。そこで、新たに開院した当クリニックと市内の他の医療提供施設との連携について伺う。

## 5. 小嶋 俊樹 議員

### 質問事項 1

#### 今後の課題解決について

#### 質問の要旨

杉澤市政は、新型コロナウイルス感染症の流行による行動制限やロシアのウクライナ侵攻をきっかけとした物価上昇など、国内外が不安定な時期であり、そのような状況の中において様々な課題解決に尽力された8年間であった。

特に、現代のIT社会の実現を見据えて市全域に光通信網を整備したことは大きな成果の一つであり、このインフラ整備は、令和7年2月に開業した救急医療法人の誘致成功に繋がった要因の一つだと評価している。

しかしながら、一方で、まだ明確な解決策が示されていない課題も残されていると考える。そこで、以下の点について伺う。

- (1) 旧長崎オランダ村は現在、Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンに区分けされ、それぞれ独自に活用し、また活用されようとしている。今後の旧長崎オランダ村施設全体の利活用について方針を伺う。
- (2) 大島造船所に売却された大島工業団地について、令和6年第3回定例市議会における「令和5年度主要施策成果説明書」に、今後は大島造船所との連携を強化し、地域経済の活性化と雇用創出に向けた取組を進めていくと示されていたが、具体的にどのように進めていくのか伺う。
- (3) 江島沖洋上風力発電事業の実現には、江島地区住民の理解と協力が必要だが、当該事業を実施していくことについて、江島地区住民の合意形成は図られていると思うか、市長の考えを伺う。
- (4) 防衛省のまちづくり支援事業を活用した西海町木場地区に建設予定の防災食育センターは計画通りに進んでいるのか伺う。

(5) ジェネシス松島計画の推進に伴い、今後、関連産業による地域経済の活性化が期待されると思うが、最大限の利益を享受できるための大瀬戸地区の経済対策について市長の考えを伺う。

(6) 新庁舎の建設については、令和2年第4回定例会市議会において、当時の庁舎建設等に関する調査特別委員会が最終報告を行い、「新庁舎建設は急務である」との結論を出しており、その後の動向を見守っていたが、進展が見られない。

地方自治法第4条第2項で「事務所の位置を定め又はこれを変更するに当つては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。」とされており、庁舎は、市民が来庁しやすく、利便性や災害時の安全性など、様々な要件が満たされたものであること、また、まちづくりを計画していくうえでも課題として検討されるべき重要なものだと考えるが、まちづくりを進めるための新庁舎建設について市長の考えを伺う。

## 6. 平井 満洋 議員

### 質問事項1

#### 長崎オランダ村について

#### 質問の要旨

(1) 令和6年第4回定例会市議会において、長崎オランダ村株式会社との訴訟に係る審理状況について一般質問をしたところ、審理状況については、弁論準備手続が原則非公開で行われていることを踏まえ、現時点で具体的な審理内容に関する答弁は控えるとのことであった。その際、次回期日については、令和7年1月30日に弁論準備手続が予定されているとのことであったが、それ以降の経緯はどうなっているのか伺う。

(2) 旧長崎オランダ村が平成28年4月にポートホールン長崎としてリニューアルオープンしたが、市は、オープンに向けた改修費として約4億円の予算を支出しており、また、土地や建物について管理運営事業者に対して10年間無償で貸与する契約を締結するなどの政治判断を行った。市は、その後も施設の改修等に予算を投じるなど尽力してきた。しかしながら、現在は長崎オランダ村の営業はされていない状態であり、このような現状に対する市長の見解を伺う。

## 質問事項 2

### 公衆トイレの洋式化について

#### 質問の要旨

- (1) 令和 6 年第 3 回定例市議会において、市内公衆トイレの洋式化の進捗について一般質問したところ、令和 5 年度末時点での洋式トイレの数は 389 基でその割合は 58.8%であるとの答弁であった。また、令和 6 年度は 5 つの施設におけるトイレの様式化に関連する予算を計上するとのことであったが、現在の進捗状況と洋式化率について伺う。
- (2) 西彼中央グラウンドは、野球、ソフトボール等多くの試合や大会が開催されており、併設している公衆トイレの利用率も高いが、洋式トイレは男子トイレしか整備されていない。そこで、老朽化が進んでいる当該公衆トイレの改装も併せ、女子トイレの洋式化の整備について、優先順位を上げて取組む考えはないか伺う。

## 7. 戸浦 善彦 議員

### 質問事項 1

#### 介護事業者への支援と老人福祉計画の見直しについて

#### 質問の要旨

- (1) 令和 7 年 2 月 15 日に、市内の介護に携わる 5 つの法人が共同で、人材確保等の課題に対応するために取組んだ事業報告会が開催された。この事業は、県の「事業者グループ職場環境改善協働実施推進補助金」を活用したもので、高齢化が進行し、働き手となる世代の人口が減少する中で、質の高い介護サービスの提供や生産性向上を図ることを目的としており、小規模事業者を含む事業者グループが共同で、人材募集や一括採用、合同研修の実施、事務処理部門の集約等に取り組む事業に対して補助金が交付される。

このように、介護に携わる事業者が各種の課題に対して共同で取組、職場環境の改善を進めることは、今後の介護サービスの安定的な提供体制の維持につながると考える。したがって、これらの取組を継続的に支援することが重要である。そこで、次年度以降も同様の共同事業が行えるように、県の補助事業と連携した市独自の支援を行う考えはないか伺う。

- (2) 令和 6 年 1 月 19 日付の厚生労働省老健局長通知「第 9 期介護保険事業計画の作成に併せた老人福祉計画の見直しについて」では、老人福祉計画において養護老人ホームに関して、各地域の環境上の理由及び経済的理由により居宅において

養護を受けることが困難な者を把握し、適当な量を見込むことが求められている。

しかしながら、第9期西海市介護保険事業計画及び老人福祉計画には、養護老人ホームの事業量の目標が盛り込まれていない。

今後、介護ニーズ以外の面で生活の問題を抱える老人が増加することが見込まれる中で、養護老人ホームの果たすべき役割は重要性を増していくと考える。また、本市には旧崎戸町の設立から75年を迎える市内唯一の養護老人ホームが存在していることから、次期計画において養護老人ホームの事業量の目標等を盛り込む考えはないか伺う。

## 質問事項2

### 水道水源の確保と保護について

#### 質問の要旨

- (1) 令和4年第4回定例市議会における一般質問で、伊佐ノ浦ダムの水道水源としての多目的活用について尋ねたところ、当該ダムの用途は農業用として作られたものであり、国や県の許可を受けるのは困難として、実現は難しいとの答弁であったが、困難を承知で国及び県と協議を行う考えはないか伺う。
- (2) 新たな最終処分場の候補地が水源保護区域の付近に選定された。現在、関係地域の住民に対して説明が行われているが、水源環境への影響について不安の声が上がっている。このような意見に対して、どのような対応を行っていくのか伺う。

## 質問事項3

### 西彼総合体育館の改修について

#### 質問の要旨

現在、西彼総合体育館では、1階及び2階の廊下で雨漏りが発生している。また、第1アリーナには開閉できない窓があり、その他にも多数の改修が必要な箇所が見受けられるなど、施設の老朽化が進行している。この体育館は、多くの市民に利用されている重要な社会体育施設であり、早急な改修が必要である。ついては、今後の対応について伺う。